

参考高ノ3

昭和二十年四月
高射兵監部

高射兵器重要譜元表

1002

目 次

- 第一表 高射砲主要諸元表
第二表 機関砲主要諸元表
第三表 探照燈主要諸元表
第四表 超短波標定機主要諸元表
第五表 電波警戒機主要諸元表
第六表 防空氣球主要諸元表
第七表 八吋打上筒ノ性能

別冊
第一回
機関砲

高射砲主要諸元素

高射砲主要諸元素

要地反撃戦用ノ区分、機動、火攻、水攻、火炎、毒氣等の各戦用ノ要地三天候用シ得
機動性ハ事前準備及訓練、幾天不調不良好ナル場合リ一トス
萬能具ヲ装備スル場合ニ於テハ其ノ無類（ニ式九三式六六式）ニ底ツ砲ハ電氣照準具ニ異ハリ以
テ之ガ一致シアリヤ一ヲ還カニ確認スルノ著意シテ

卷之三

機
閥
砲
主
要
部
件
表

第三表

| | | 探照燈主要素譜元表 | | | | | | | | | |
|------|------|-----------|-------|----|-------------|-------------|-------|----------|----------|----------|----------|
| | | 分類 | | | 九三式一米五十纏 | | | 一式一米五十纏 | | 二 | |
| | | 光源光力 | 一〇万燭光 | | 二〇万燭光 | | 二五万燭光 | | 二五万燭光 | | 米 |
| 機光房 | 量 | 操縦度 | 界 | 射 | 光 | 反 | 光 | 源 | 光 | 射 | 光 |
| 全 | 全 | 高 | 万 | 俯仰 | 電距離 | 光距離 | 明 | 光 | 射 | 光 | 射 |
| 全 | 全 | 低 | 方 | 向角 | 離 | 離 | 距 | 力 | 光 | 光 | 光 |
| 幅 | 長 | 高 | 向 | 角 | 九〇度 | 全周三付二五秒 | 同上 | 一〇〇米 | 二〇〇米 | 二〇〇米 | 二〇〇米 |
| 一五八〇 | 二三八〇 | 一五八〇 | 一五八〇 | 耗 | 一八二五「キロワット」 | 一八二五「キロワット」 | 同上 | 二〇秒 | 二〇秒 | 二〇秒 | 二〇秒 |
| 二四〇〇 | 耗 | 耗 | 耗 | 耗 | 五八〇〇 | 五八〇〇 | 同上 | 五秒 | 五秒 | 五秒 | 五秒 |
| | | | | | 車 | 機 | 機 | 發電機 | 發電機 | 發電機 | 發電機 |
| | | | | | 五八〇〇 | 九〇〇〇 | 九〇〇〇 | 自動車機關 | 自動車機關 | 自動車機關 | 自動車機關 |
| | | | | | 耗 | 耗 | 耗 | 軸 | 軸 | 軸 | 軸 |
| | | | | | | | | ノ | ノ | ノ | ノ |
| | | | | | | | | 試驗ノ最大一五杆 | 試驗ノ最大一五杆 | 試驗ノ最大一八杆 | 試驗ノ最大一八杆 |
| | | | | | | | | | | | |

第四表

超短波標定 J. 44

第四表

超短波標定儀
主要部件

第五表

電波警戒機主要諸元表

| 機種 | 區分 | 電波警戒機主要諸元表 | | 所要電力 | 摘要 | 要 |
|-----------------------------|---|---|--------------------------|---------|------------------------------|---|
| | | 送信出力 (キロワット) | 周波数(波長) (メガサイクル)(米) | | | |
| 四〇〇「ワット」 | 四〇〇 | 四五(六六)一六三(四七) | 内二(二四)每奇數 | 三〇〇 | 一〇〇 | |
| 一〇〇「ワット」 | 一〇〇 | 四五(六六)一六六・七(四六) | 内一(一四)每奇數 | 一五〇 | 五〇 | |
| 一〇(一〇)「ワット」 | 一一〇 | 四五(六六七)一六六七(四立) | 内一(一四)每奇數 | 七五 | 一〇 | |
| 三(一〇)「ワット」 | 一〇 | 四五(一六〇)内一 (一一〇)每奇數 | 内一(一四)每奇數 | 五〇 | 〇五 | |
| 超短波警戒機乙(異地用) 電波警戒機乙(固定用) | (八〇) | 六八・七八六八〇内一 | 三〇〇 | 一〇 | 一送信四受信タグ一組トス | |
| 電波警戒機乙(移動用) | (八〇) | 約一〇〇(三米) | 三〇〇 | 七五 | 自動車(要スペハ航速)積載 式開設所要時間一〇時間 | |
| 電波警戒機乙(野戦用) | (五〇) | 約一〇〇(三米) | 二〇〇 | 一七(發電車) | 送信車受信車電波車屬品 開設所要時間三時間 | |
| 電波警戒機乙(船用) | (五〇) | 約一一〇(一一七米) | 一五〇一八(「デーゼル」駆動 交流發電機) | | | |
| 備考 | 一、警戒機乙ノ警戒範囲ハ目標ノ種類高度陣地ノ標高等ニ依リ差異アリ本表ニ示ス數字ハ標高約 二、彼機用ノ精度ハ方舟五度距離五度附近ニシテ百度ハ測定シ得ヌ 三、彼機用ノ航空近接感知装置ノミナリ | 一、警戒機乙ノ警戒範囲ハ目標ノ種類高度陣地ノ標高等ニ依リ差異アリ本表ニ示ス數字ハ標高約 二、彼機用ノ精度ハ方舟五度距離五度附近ニシテ百度ハ測定シ得ヌ 三、彼機用ノ航空近接感知装置ノミナリ | | | | |

第六表

防空氣球主要諸元表

| 防 空 氣 球 主 要 諸 元 表 | | | | | | | | | |
|-------------------|-------|----------|----------|---------|-----------------|-------------|----------|-------------|-------------|
| 區 分 種 類 | | | | | | | | | |
| 一 式 | | | | | | | | | |
| 卷 索 速 度 | 動 力 車 | 索鼓車 (索共) | 馬 力 | 長 | 全 重 量 (2000米二付) | 標 準 切 斷 荷 重 | 標 準 長 | 本 体 最 大 容 積 | 全 長 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一五〇〇馬力 | 約 六〇〇米 | 約 一九〇〇瓦 | 約 一九〇〇瓦 | 約 二七〇〇米 | 約 五五〇立方米 | 約 二〇〇米 |
| 三〇米/分 | 七五〇瓦 | 七五〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 備裝機動電 | 約 一二〇〇瓦 | 約 一九〇〇瓦 | 約 一五〇〇立方米 | 約 一八〇〇米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 備裝機動發 | 約 三〇馬力 | 約 一九〇〇瓦 | 約 一五〇〇立方米 | 約 一八〇〇米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 標 準 水 素 填 充 量 | 約 二七〇〇米 | 約 二七〇〇米 | 約 三二〇 立 方 米 | 約 三二〇 立 方 米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 標 準 升 腾 高 度 | 約 二七〇〇米 | 約 二七〇〇米 | 約 一九〇〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 切 斷 荷 重 | 約 一九〇〇米 | 約 一九〇〇米 | 約 五五〇立方米 | 約 五五〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 標 準 長 | 約 二七〇〇米 | 約 二七〇〇米 | 約 一九〇〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 本 体 最 大 容 積 | 約 五五〇立方米 | 約 五五〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 全 長 | 約 二〇〇米 | 約 二〇〇米 | 約 一九〇〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 標 準 水 素 填 充 量 | 約 二七〇〇米 | 約 二七〇〇米 | 約 一九〇〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 切 斷 荷 重 | 約 一九〇〇米 | 約 一九〇〇米 | 約 五五〇立方米 | 約 五五〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 標 準 長 | 約 二七〇〇米 | 約 二七〇〇米 | 約 一九〇〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 本 体 最 大 容 積 | 約 五五〇立方米 | 約 五五〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 |
| 三〇米/分 | 八七〇瓦 | 八七〇瓦 | 約 一二〇〇馬力 | 約 一二〇〇米 | 全 長 | 約 二〇〇米 | 約 二〇〇米 | 約 一九〇〇立方米 | 約 一九〇〇立方米 |

1010

第七表

凡 樂 手 簡 一 性

| 區 分 | 說 明 | 八 糜 打 上 箭 の 性 能 |
|------------------|---|----------------------------|
| 口 徑 | 八〇一〇三 糜 | 阻塞榴彈、阻塞煙彈ヲ打上ゲ低空襲擊敵機ノ攻撃ヲ阻止ス |
| 全 備 重 量 | 約二八七 | |
| 彈 梯 ノ 性 能 | | |
| 區 分 | 四式阻塞榴彈 | 四式阻塞煙彈 |
| 全 備 彈 量 | 一・三六〇七 | 一・四一〇七 |
| 全 備 彈 藥 筒 量 | 一・七六〇七 | 一・八一〇七 |
| 曳 火 時 間 | 約十秒 | 二秒 |
| 滯 空 時 間 | 約五十秒 | 約八十秒 |
| 降 下 速 度 | 約七・五米/秒 | 約八・〇米/秒 |
| 彈 幕 構 成 ノ 要 領 | 一、通常十筒ヲ基準トシ集結使用ス 二、敵機ノ状態、走向、風速、掩護物ノ状態等ヲ考慮シ彈幕構成ノ空域ヲ決定シ發射時機ヲ適切ナラシム 射角ト開傘高度及水平距離トノ關係左ノ如シ | |
| 射 角 (度) | 開 傘 高 度 (米) | 水 平 距 離 (米) |
| 四 | 五 | 五四〇 |
| 五 | 五 | 七五〇 |
| 六 | 五 | 七八〇 |
| 八 | 〇 | 一〇〇〇 |
| | | 四〇〇 |

射角四十度以上カラツレバ不發トカラ

極
秘

第十三號

タロキナシ附近敵軍防禦二閥スル觀察

昭和九年四月二日
大本營陸軍部一

本資料、從來調查セシ米軍防禦ノ觀察ヲ基礎トシ「タ」號作戰ニ基テ現地部隊
報告ヲ斟酌シ審査研究セシモノシテ内容未だ研究、余地大有え後日更ニ詳細
ト資料入手次第再研究スルコト、シ現戰局ニ鑑ミ此種研究資料、必要
ナルヲ認メ不取取印刷配布セルモノナリ。

内 容

第一要旨

第二 防禦ノ思想及目的

第三 防禦ノ為、軍隊、部署

第四 戰禦、陣地編成及防禦戰斗、焉干ト

第五 其他

第六 教訓、若干

1012

第一要旨

敵ハ昨年十月一日以來約四ヶ月ニ亘リ「タロキ」附近、密林ヲ伐開シ飛行場ヲ中ハトスル堅固な橋頭堡陣地ヲ構築ス

且、陣地ハ廣正面、尋常地帶防禦ニ屬シ防禦戦半般、思想ハ多分ニ陣火攻撃ノ如シ

計思謀濃厚ニシテ強度ハト一過ニ骨幹ハセル半永久陣地アル也、敵所禦ノ目的（飛行場守備）及該方面地形、特性（密林ト土壘）特殊な防禦ト觀

ナリハ之ヲ以テ米軍防禦ノ本態ト為入過早アルベシ

第二 防禦ノ思想及目的

能行揚守備ヲ目的ドスル一種、固守防禦ニシテ之ヲ手段トシテ火力ト野戦（機動部隊）ニヨリ遂襲トラ、重視スルモ攻者ハ悉滅ハズシモ主陣地前ニ於テ萬施乞、企圖ヲ有ミ寧カ攻者ヲ陣地ニ誘致シ四周ヲ優勢乞火力ヲ急

速シ仕倒シ後續部隊ト遮断シ機ラ矢サ入戦車部隊ヲ以テ之ヲ轟

滅シトスル在ル力如ク之ノ爲主抵抗地帶一部、喪失ノ如キハ取ラ夷トセタルス

ノ如シ

但シ陣地ノ鎧輪部ニ付シテ、飽ク迄之ヲ保持セントスル執拗充遂襲ヲ企圖ス

ノ如シ

第三 防禦の點、各隊、部署

一、師団、各旅隊の併列、各聯隊、二、三、四隊の併列、主抵抗地帯、占領セシメ
入隊ヲ聯繫、主抵抗地帯、後方要線、擇置ス。

二、師團、属立戦車、防禦、於尤、唯一無ニ、遂襲機動部隊、思想、基準、當
初ハ敵ヲ攻者、砲兵射程外、位置、待機セシメ、機、見テ、遂襲正面、把致ス、
又隊ハ通常、中隊ヲ第一線、一中隊ヲ第二線トシ、主抵抗地帯ヲ占領スルヲ
例トス。本紙況、如ク小兵力、以テ廣正面ヲ防禦セサルヘカラル場合、於テ、

第一線、中隊ハ、數箇、支営（二隊又半小隊）ヲ、第一線、併列配置、ルト
共ニ極力重火薬ヲ利用スルニ勉メ、各支営、防禦火力、骨幹ヲシルト共

二、斜射側射ヲ重視ス。

即チ各支営ハ、MGヲ、中ベ、主抵抗地帯ガヤフ観察セラ

三、各支営ハ、通常若干ノ「トーチ」ヲ、中ベ、シテ、野戰陣地ヲ適宜、配置、接配シテ全
防禦、可能在如ク占領スルト共ニ隣接支営トノ火力協調、遺慮、シムル如

考感、テ、レタルモノ、如シ

四、各支営、通常十「トーチ」ヲ有スト。

四現地、報告依り判断セラルト、奥方支隊正(飛行場西北側地区)第一線歩兵取締防禦陣地一例附圖第一ノ如シ

第四 防禦、爲、陣地編成及防禦戦闘ノ若手

陣地、通常抵抗地帯、聯隊豫備陣地ト、區分セラレ、主抵抗地帯、
第一線中隊陣地帯及大隊豫備隊陣地帯、分ル通常、
第2線陣地帯前ヲ火制地帯、大隊豫備隊陣地帯前ヲ逆
襲地帯ト稱シアルガ如ク追撃砲及砲兵ハコノ面地帯ニ對シ濃
密ナル火力ヲ指向シ得ル如ク配置セラル

二追撃砲ノ主力ハ通常大隊豫備隊陣地帯ニ亘ル地區ニ
於テ良好ニ遮蔽セラレタル地區ニ配置シ隨時火力ヲ火制地帯、
及逆襲地帯ニ指向シ得ル如ク準備ス

但シ大隊追撃砲ハ抵抗地帯内各支點内ニ配置セラレアルガ如シ
而團砲兵ハ通常師團ニ於テ統一使用スルヲ原則ト認ヌアルガ如ク
其陣地ハ多數、豫備陣地ヲ準備シ、聯隊豫備隊陣地ノ更ニ後方ニ
配置セラレ通常火力ヲ集中スルガ如ク使用チャルガ如シ

然レ上モ或ニ一部、砲兵ヲ第一線聯隊配属使用セシヌアルヤ、公算ナシトセズ、
又、上モ或ニ一部、砲兵ヲ第一線聯隊配属使用セシヌアルヤ、公算ナシトセズ、

取旨ニ依リ編成セラレ教條ノ鐵條網上地雷地帶ヲ混用重複シ且
火制地帶ノ後半部ニハ一部、輕易アルトナカコ配置ス
真方支隊正面（飛行場西北方地帯）火制地帶ヲ現地ノ報告ニ基キ利
断セル一例附圖第ニノ如シ

隊屬ノ陳述ニヨリサワ河畔敵火制地帶ノ例附圖第三ノ如シ

五道襲地帶ハ火制地帶ヲ瀘過ミテ復入セル及有其ノ戰力ト低下セルニ乘シ凡
日火力ヲ急襲指揮ニ戰率部隊ノ遂襲衣ニヨリ一舉ニ殲滅セントスルモノミシテ
通常附圖第一如ク時ニ敵ノ後續部隊ヲ遮断シ防者ノ裏中ニ於テ處
理セントスルヲ強調シアルガ如ク立ガ爲砲兵及迫擊砲等ノ主火力ハ常ニ突破
網陣ノ後方遮断ニ指向セラルコト多シ

並裝備部隊、方向ト勉ヌテ突破部隊ノ側ニヨリ方如ク時ニ後軍ノ重火器ヲ
目標トニ戰車ヲ以テニラ蹂躪エルヲ例トス

八障碍物、各種、型狀アルモ概ミテ屋根型多ク火制地帶ニ於ケル配置
各障碍物ノ距離、例附圖第二ノ如シ
廿二年九月木制衣及アートレ製、二種ニシテ其ノ強度大ナルザルモ少

地帶ニ在ルハ通常不製装ニシテ若キノ上砂ヲ以テ被覆ス。其ノ型狀及
雲霞附圖第ニ備考註記ノ如シ各「ト一千カ」、間隔ハ通常三五三口米
ヒルモノノ如ク不規ニ配列ス。各「ト一千カ」及各陣地ハ通常交通壕ヲ

以テ前後左右ニ連絡ス。

ハ「ト一千カ」通常三三ニ「ト一千カ」一箇置キニラ配置シアルガ既シ
八偽陣地構築ヲ獎勵シ時トヨモ抵抗地帶ニ於テモ之ヲ巧ニ配置シテ破
者ノ之ヲ占領スルヤ四圍ヨリ殲滅的火力ヲ指向シ得ル如ク考案入ス。

表五 其ノ他

敵戰車ハ背後ニ有刺鉄線ヲ縛着シアリテ、背後ヨリノ肉迫攻撃ヲ
防止シアリ。又吸着爆雷ハ敵戰車ニ特殊裝置アルガ如ク吸着セテ
コトアリ(吸着爆雷ノ機能不完全ナルヤ又ハ攻撃法、獨劣ナルヤ等研究中
ニ敵我ガ擲弾管、射裏ニ対シ相當恐怖ヲ有スルモノ)如シ
三鐵條網ハ雷氣的近接警報裝置ヲ十分活用シアルハ注意ヲ要

「總作戰」突破不成功ナリシ原因、主ナルモノト認メラルモノ、次、如シ
敵砲兵及航空兵力不足ニ基キ敵陣地全縱深ヲ同時ニ制壓シ
前ホリシ爲逆襲地帶ニ於ケル敵ノ逆襲ヲ容易ナラシメタリ
我が攻撃部隊、縱深戦力不足シ爲メニ敵主抵抗地帶、一撃突
破不可能ナリシヨル

假、陣地反戦法ニ對スル認識及偵察、不十分ニシテ且過時敵火
既中我が近距離戦闘搜索ハ一般不十分ニシテ敵陣地、障碍物
知ラズシテ攻撃セル部隊アリ之ガ爲攻撃間損害ヲ頻出スル至ル
對戦車戦闘ニ對スル訓練及處置不十分ニシテ突破部隊ハ敵陣
内ニ於テ多ク戦車ニ躊躇セラレ其ノ攻撃中心戦力タル重火器ヲ破壊
モアルニ至レルコト

來考慮すべき事項

劣勢且裝備不十分ナル部隊ヲ以テ攻撃ス場合ニ於テ夜間、利

制ハ特ニ著意ヲ要ス敵ハ我が部隊ノ夜間攻撃ニ方リテ、大ナル抵抗

行フコトナク後退スルヲ常トス

此破、縱深戦力過少ナル場合ニ於テも突破部隊ニ有利ナル後
可挺進部隊ヲ跟隨セシメ夜間一部、陣地ヲ突破スルヤ機ヲ失
失、挺進部隊ヲ正面ニ投入シ拂曉以後、敵ノ逆襲又ハ火力集

半ヲ妨害スルト共ニ敵防禦、根幹タル砲兵又ハ戦軍等ヲ求メテ

而薄攻撃セシムル、有利ナリト思考ス

特ニ夜間、警戒嚴ナラサルト我が果敢ナル遊撃挺進部隊、行動
ニ畏怖シアル敵ニ対シ廣範囲ニ亘る後方擾亂、突破部隊正面

攻撃ト共ニ效果甚大ナリト確信ス

蓋此種戦法、劣勢且火力裝備不足セル國軍ニ残サタル只
敵陣地縱深同時制壓、良法タレゲリ

失敗ハ勉メテ數點ヨリ突破シ敵後方戦力ヲ一方ニ誘致シ、一擧二
我が後方部隊ヲ投入シテ主抵抗地帶、全縱深ヲ突破スル可トス

又突破正面ハ極力地形ヲ偵察シ敵弱點特ニ敵戰車、行進團
難ナル方面ニ選定スルノ著意ヲ可トス

例へノ機防隊聯軍米

(隊部襲逆)備豫隊聯

備考

一 請指北航線ハ狀況ニ依リ相應ノ縱深ヲ
有スルモノノ如シ

二 火制帶三層シテハ第二區参照

三 砲兵八師團ニ於テ統一運用可也上
記ノ如ク廣正面防禦場合之於各
聯隊ニ配属セラルコトアルガ如シ

砲兵機動的使用シ豫備陣地ヲ多整備

四 逆襲主体戦車ミテ戰車ハ當初攻
者、砲兵射撃外要點ニ移動置
セラルルヲ通常トス

五、対戦車砲通常主力ヲ三抵抗地帶内
配置シ得ル如ク準備シアルモノ如シ

六、聯隊總砲之主力全搭在地帶後方ヨ
リ聯隊總砲隊地帶三重ノ縱深配置

ス

七、八支點ニシテ通常主乃至四條之鉄
條網ヲ以テ全周ヲ圍繞ス

1020

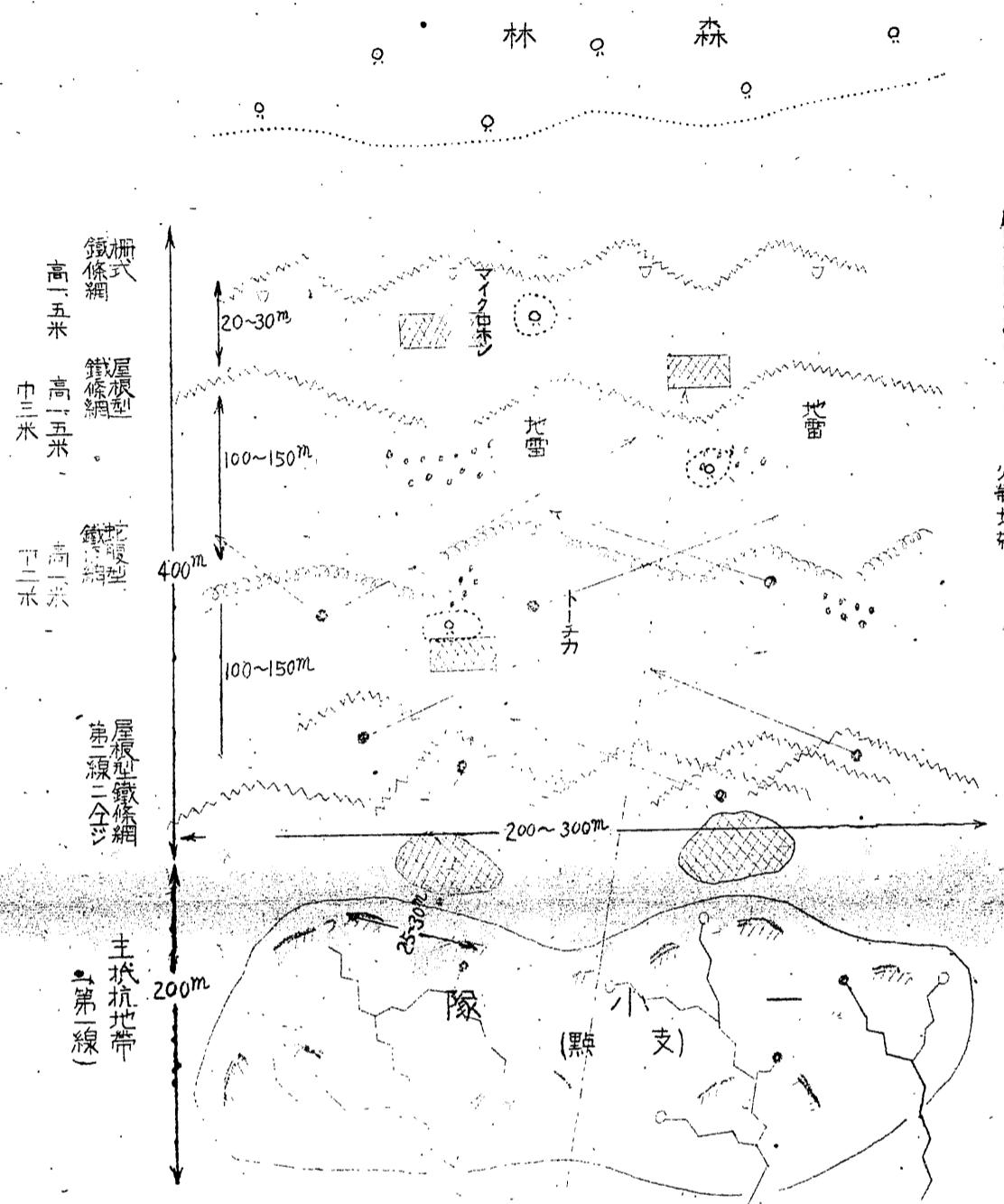
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

火制地帶状況圖

第二圖



備考

一. ハ砲兵ノ火力準備地帯

ハ迫撃砲ノ急襲火力準備地帯

トス

二.

ハ木製ドーチカノハペトン製ドーチカトス

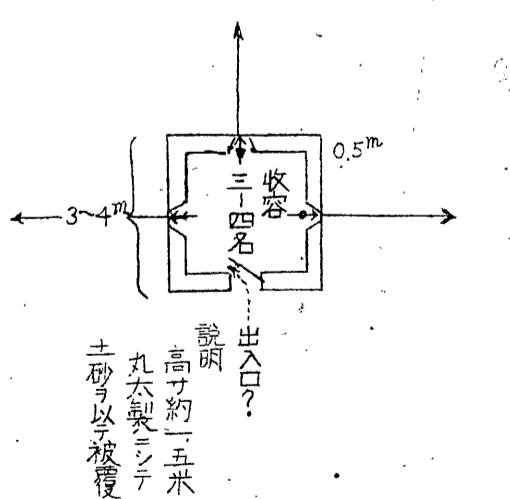
トス

三.

ハ交通壕トス

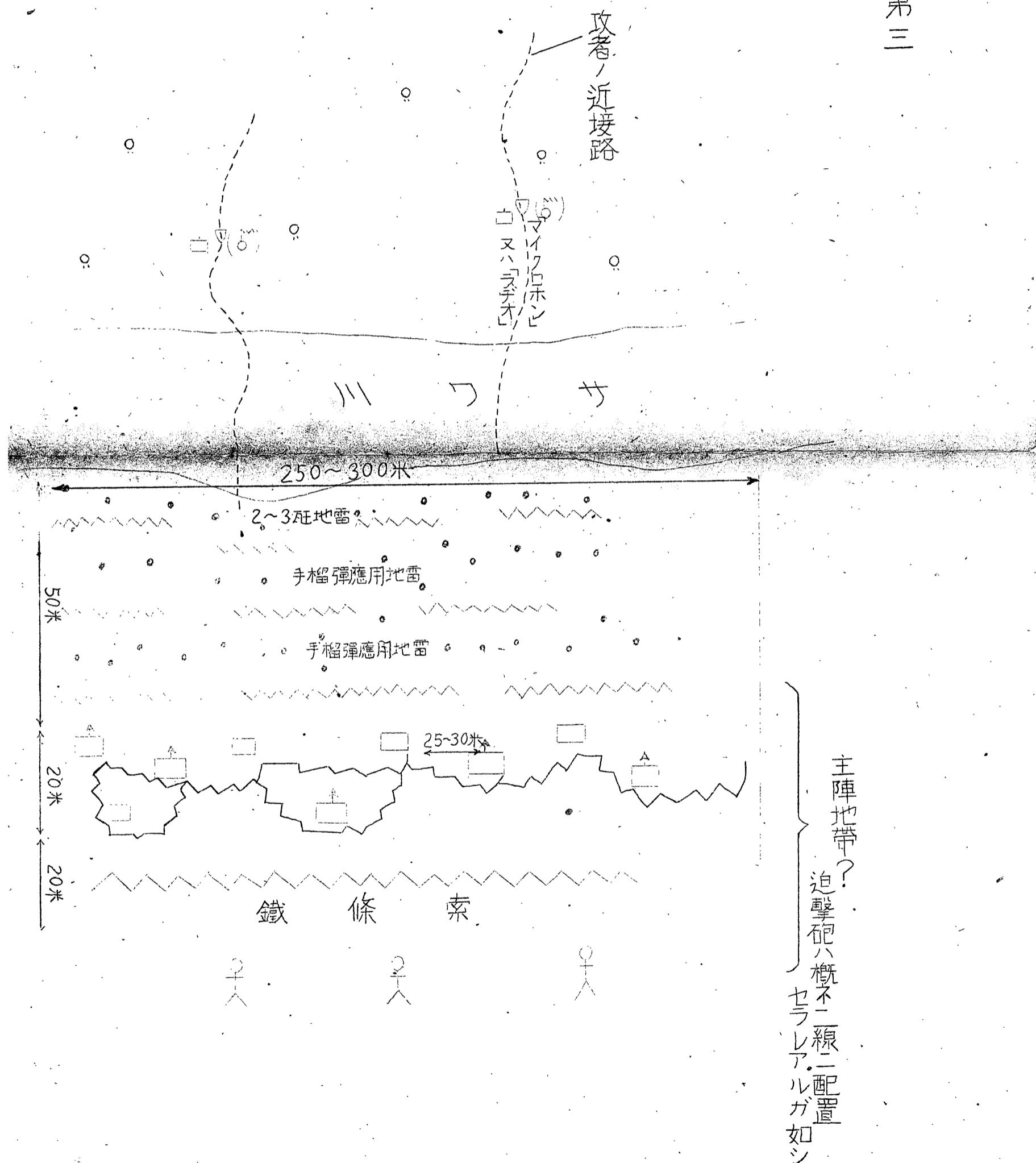
トス

四. 東製ドーチカノ例左圖ノ如シ



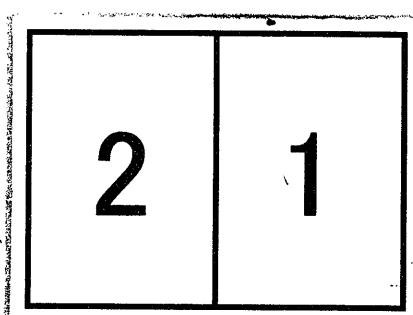
況状ノ帶地陣主敵畔河川ワサ

附圖
第三



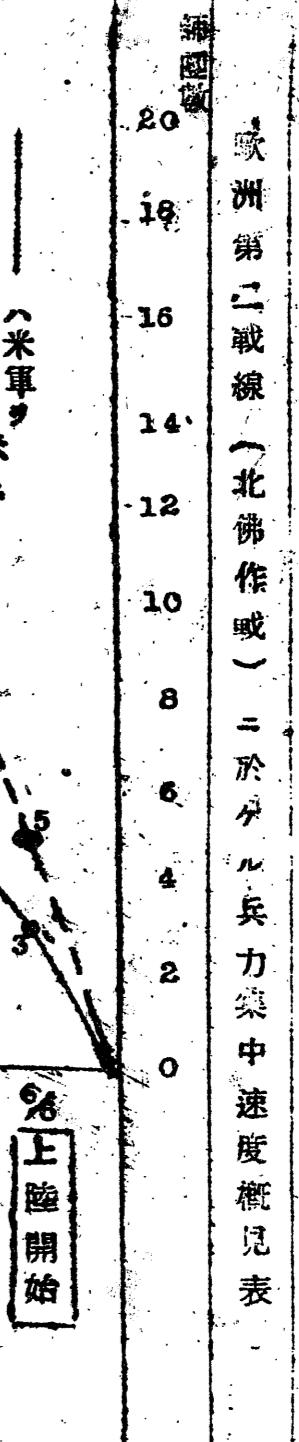
1022

分割撮影ターゲット

| | |
|----------------------|--|
| 分割した部分の撮影順序 |  |
| 分割撮影した理由 | A3版以上ため |
| 文書等名 | 欧洲第2戦線(北仏作戦)に 於ける兵力集中速度概見表 |
| 上記のとおり分割撮影したことを証明する。 | |

歐洲第二戰線（北佛作戰）ニ於タル兵力集中速度概況表

機密

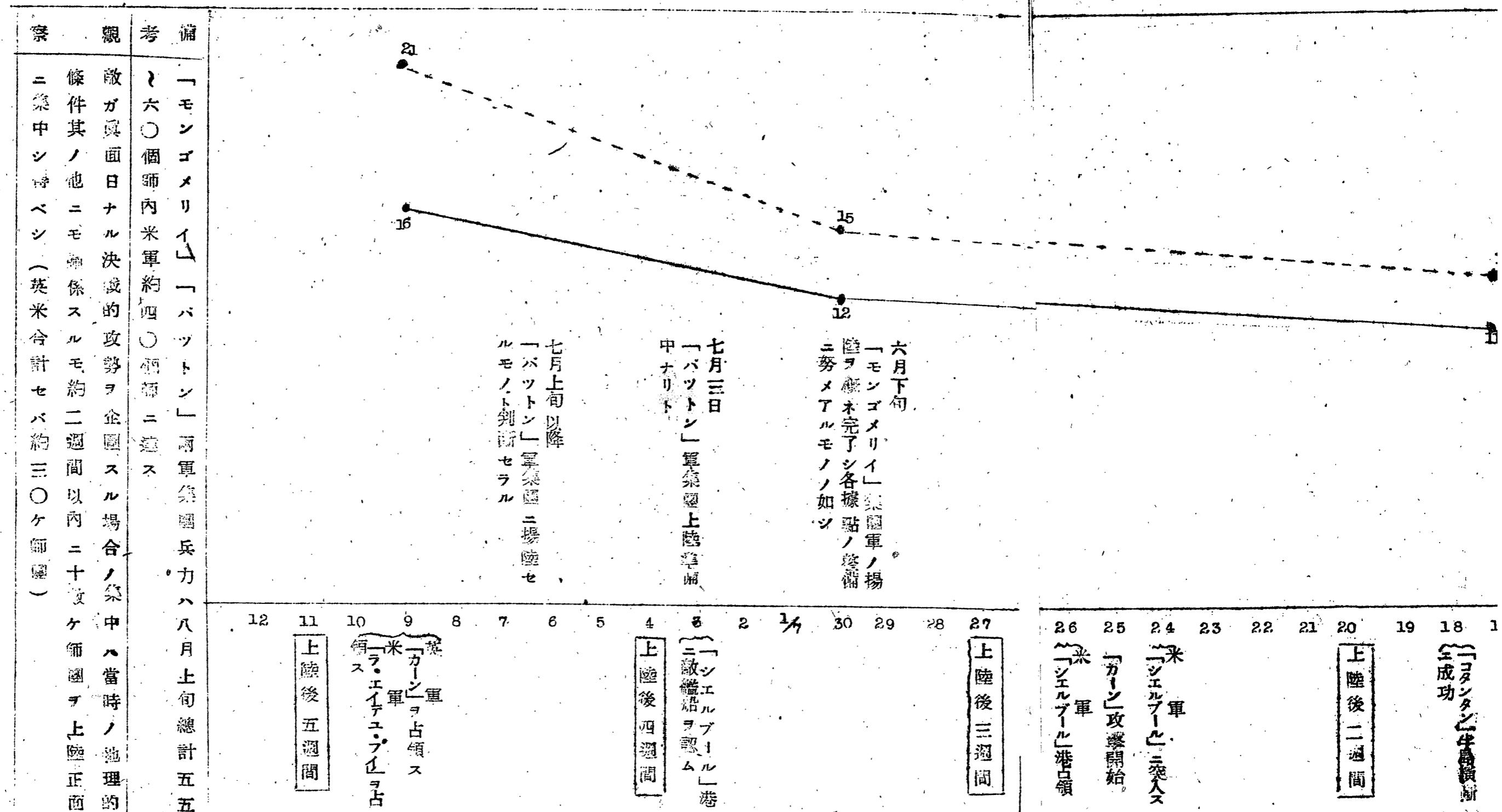


1023
1024

七月三日
「バットン」軍艦上陸準備
中より下
六月下旬
一モントメリイ軍艦ノ揚
陸ヲ既木完了シ各據點ノ整備
ニ勢メアルモノノ如シ

4 2 1
30 29 28 27
上陸後三週間
「シエルブル」港
ニ敵艦船ヲ認ム

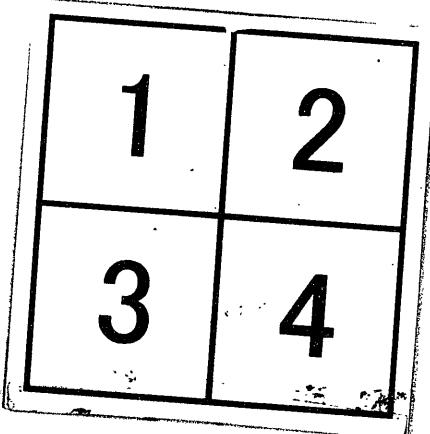
15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
上陸後二週間
米軍
「シェルブル」ニ突入
「ガーン」攻撃開始
「シエルブル」港占領
米軍
「コタンタン」半島横断
「サン・シーチュイ」占
軍



情第六號

1025

分割撮影ターゲット

| | |
|----------------------|--|
| 分割した部分の撮影順序 |  |
| 分割撮影した理由 | A3版以上のため |
| 文書等名 | 「レイテ」湾進入輸送船 推定隻数及屯数 |
| 上記のとおり分割撮影したことを証明する。 | |

1026
1027

1028
1029

七ヶ湾進入敵輸送船推定隻数及屯数

觀 察

(萬屯)
隻数
110

約二万屯ナリ。
南ヶ島、御園ノニ一隊ニ際シ約三〇（三五万屯）、船腹ヲ使用一ヶ師團
兩後戰況、推移ニ應シ數ヶ師團ヲ増後戰勝工々要莫！
敵之ニ上降ニ際シ最初三ヶ師團四ヶ日後更ニ一ヶ師團ヲ揚

(50) 100

90

80

70

60

50

40

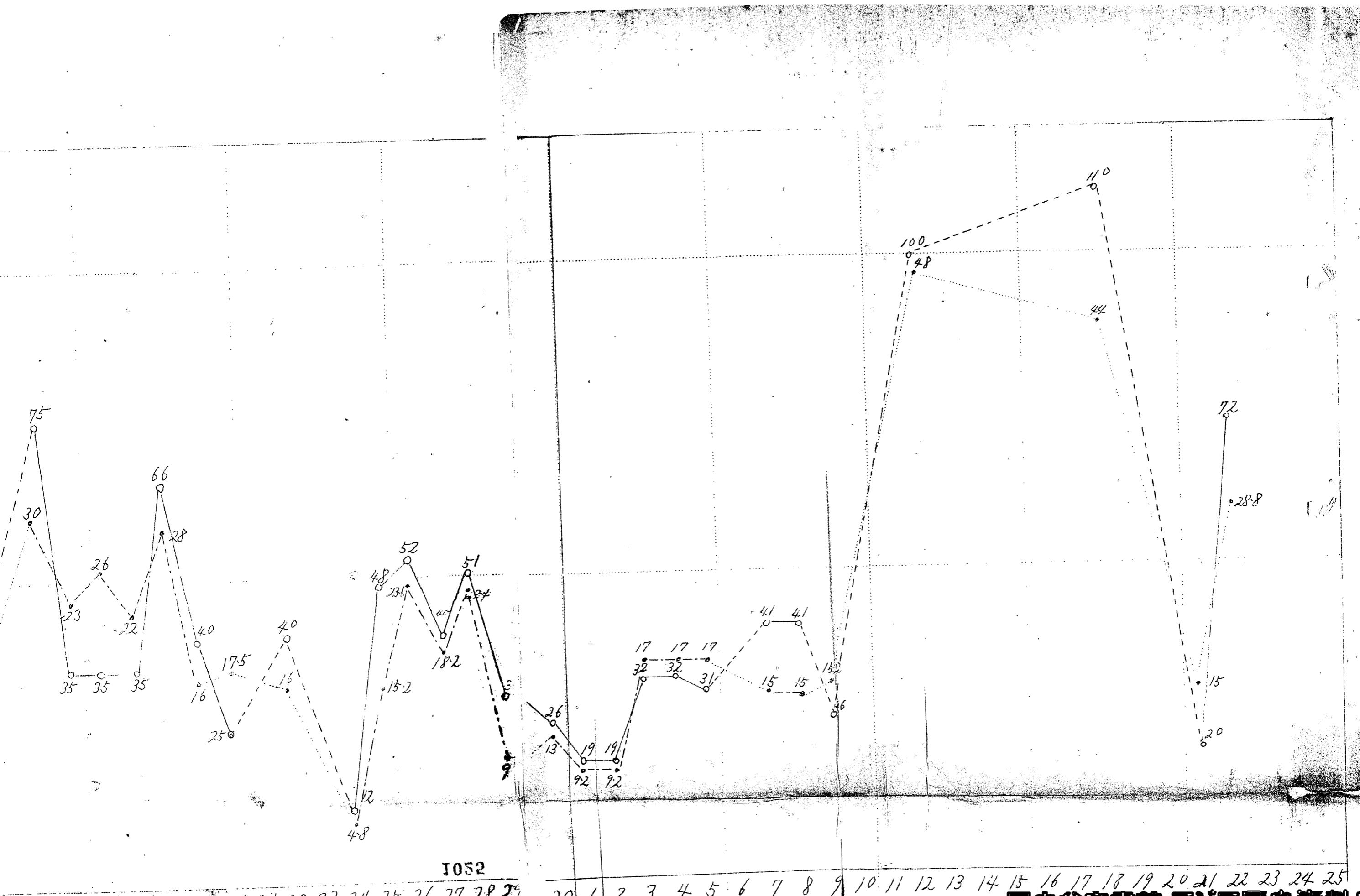
30

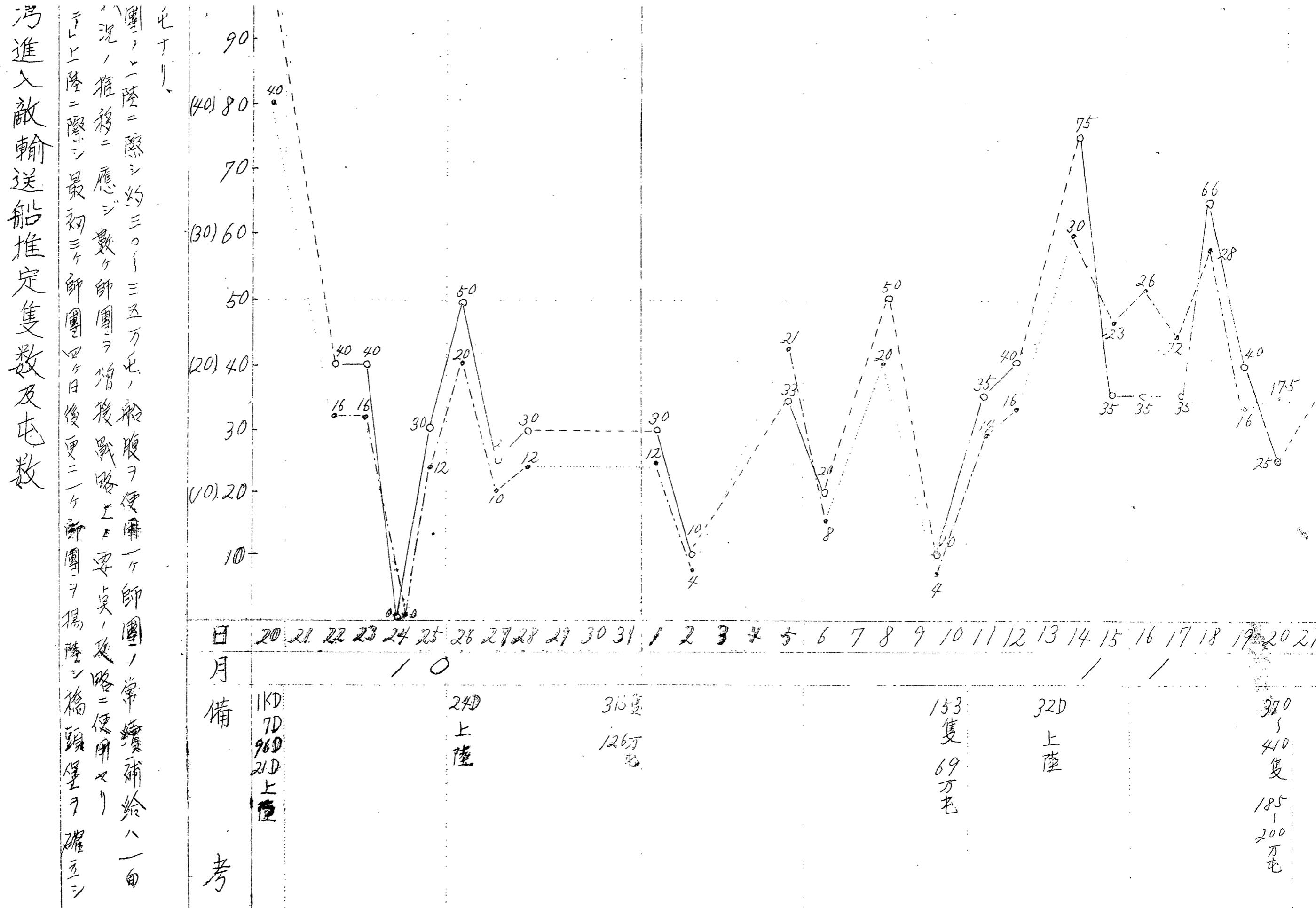
20

10

0

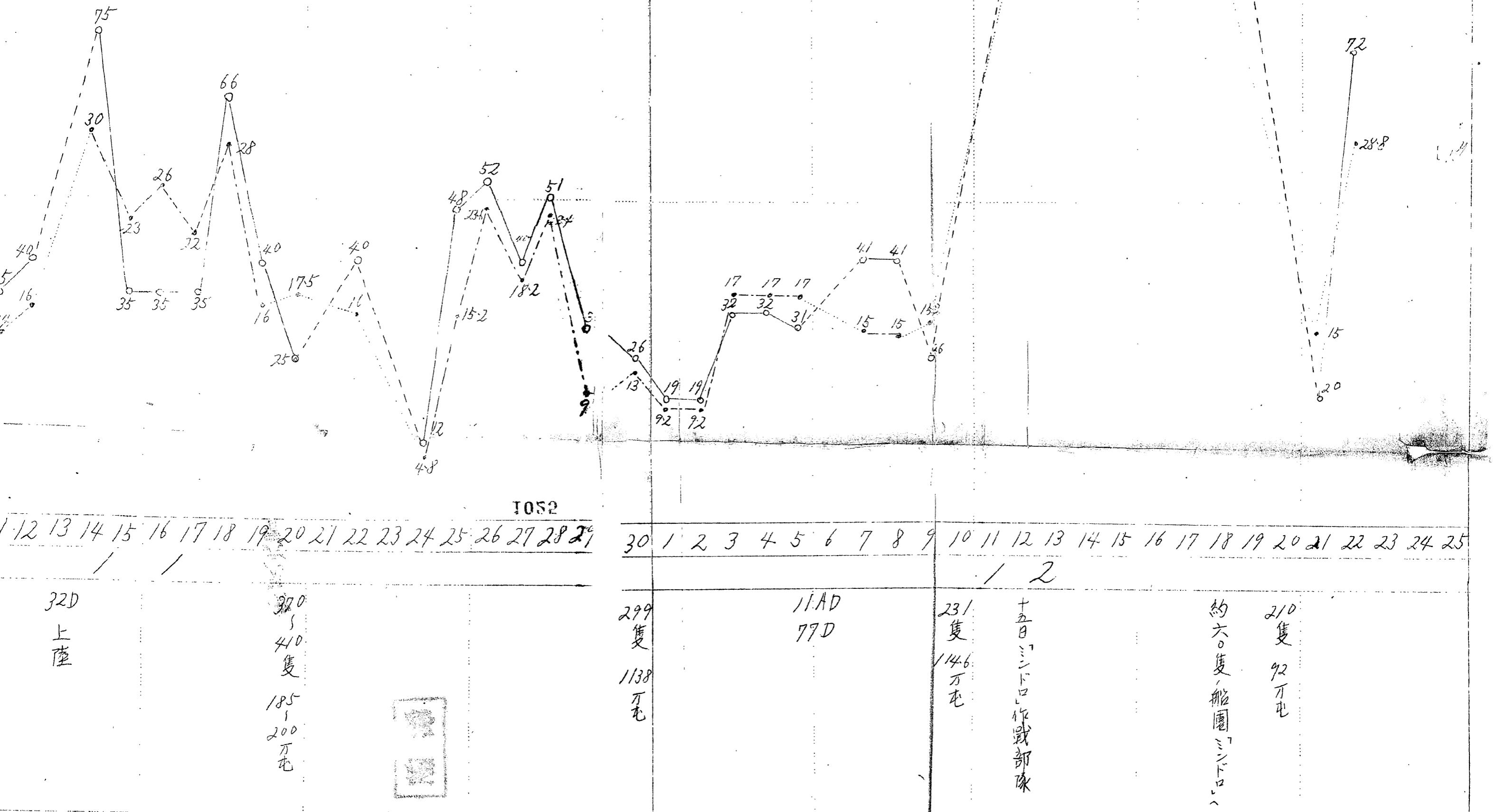
月 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21





毛ナリ。
團ノ二陸ニ敵シ約三〇三五万屯、船腹ヲ使用一師團、常縫補給八一向
況、猶移ニ應シ數ヶ師團ヲ備後戰略上要莫、及陸ニ使用セリ
テ上陸ニ際シ最初三ヶ師團四日後更ニ一ヶ師團ヲ揚陸シ橋頭堡ヲ確立シ

鴻進入敵輸送船推定隻数及屯数

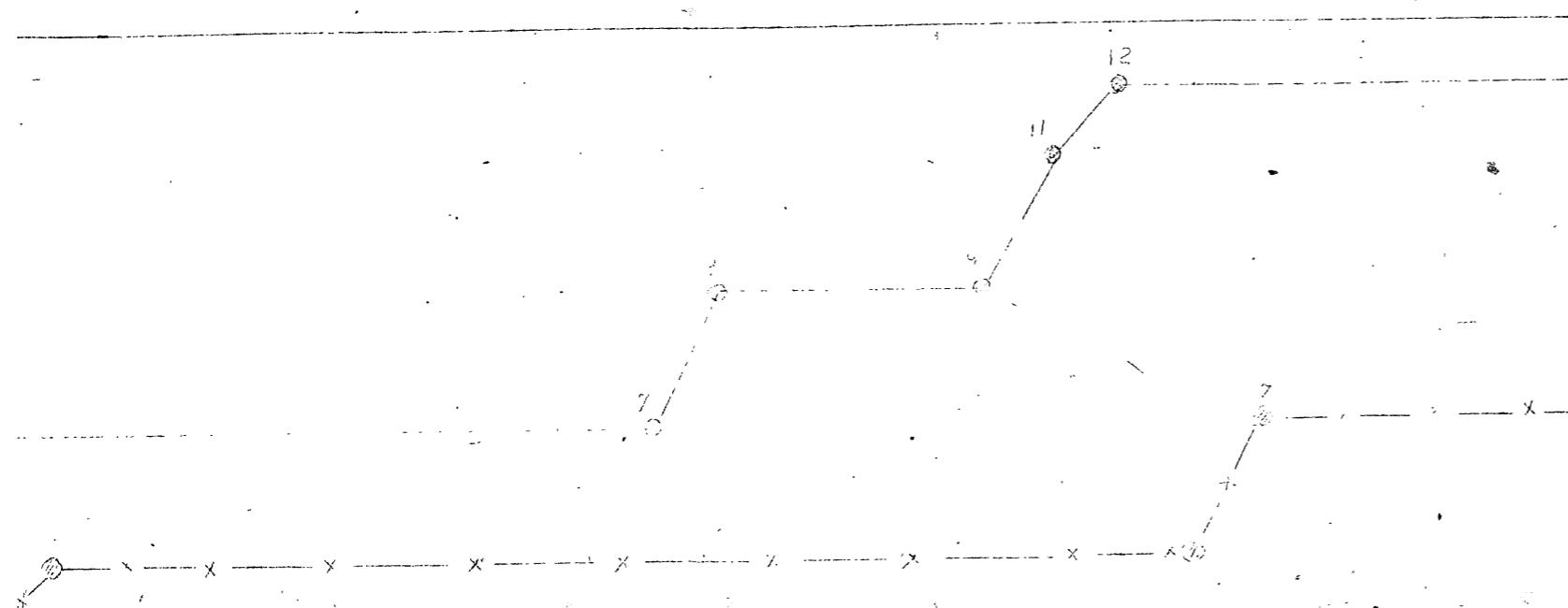


情第五號

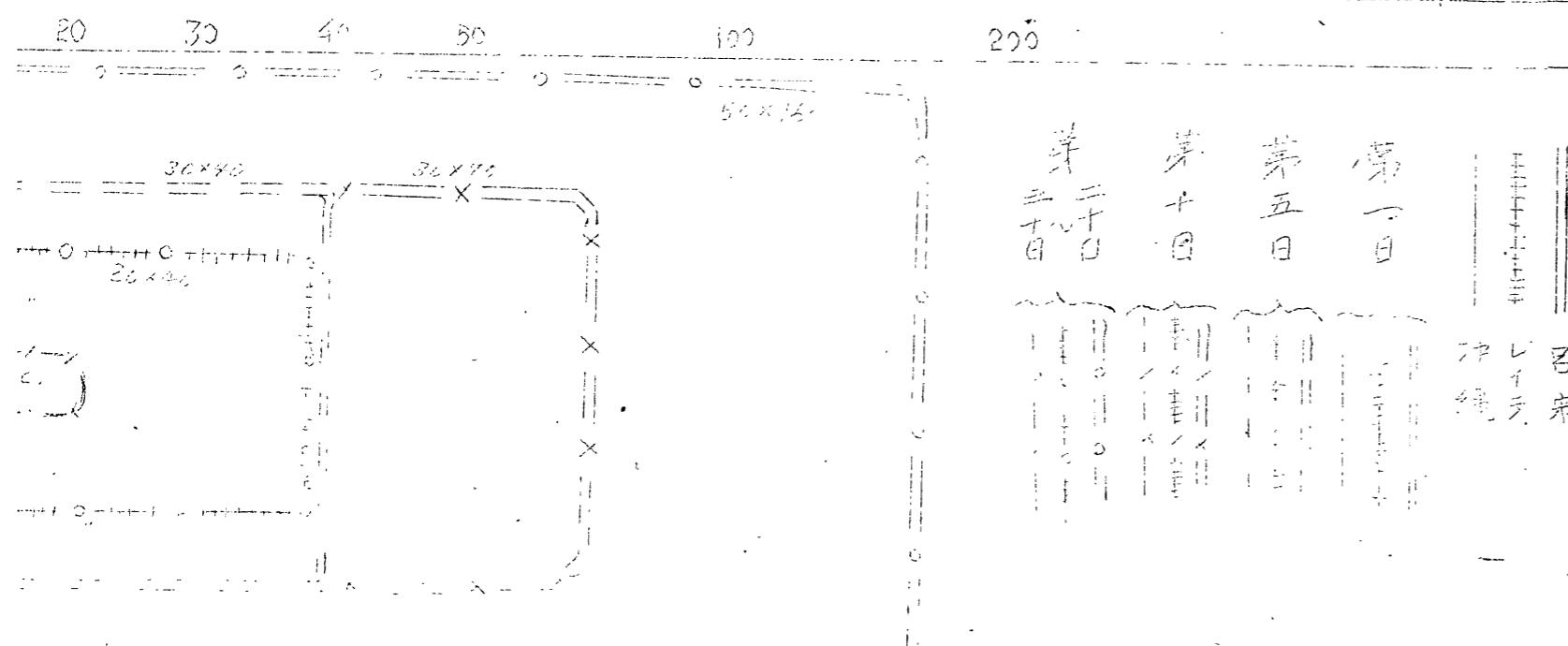
1030

分割撮影ターゲット

| | |
|-------------|-----------------------------|
| 分割した部分の撮影順序 | |
| 分割撮影した理由 | A3版以上ため |
| 文書等名 | 「航行」呂宋沖作戦に於ける敵地上兵力揚陸状況並進撃速度 |
| | 上記のとおり分割撮影したこと証明する。 |

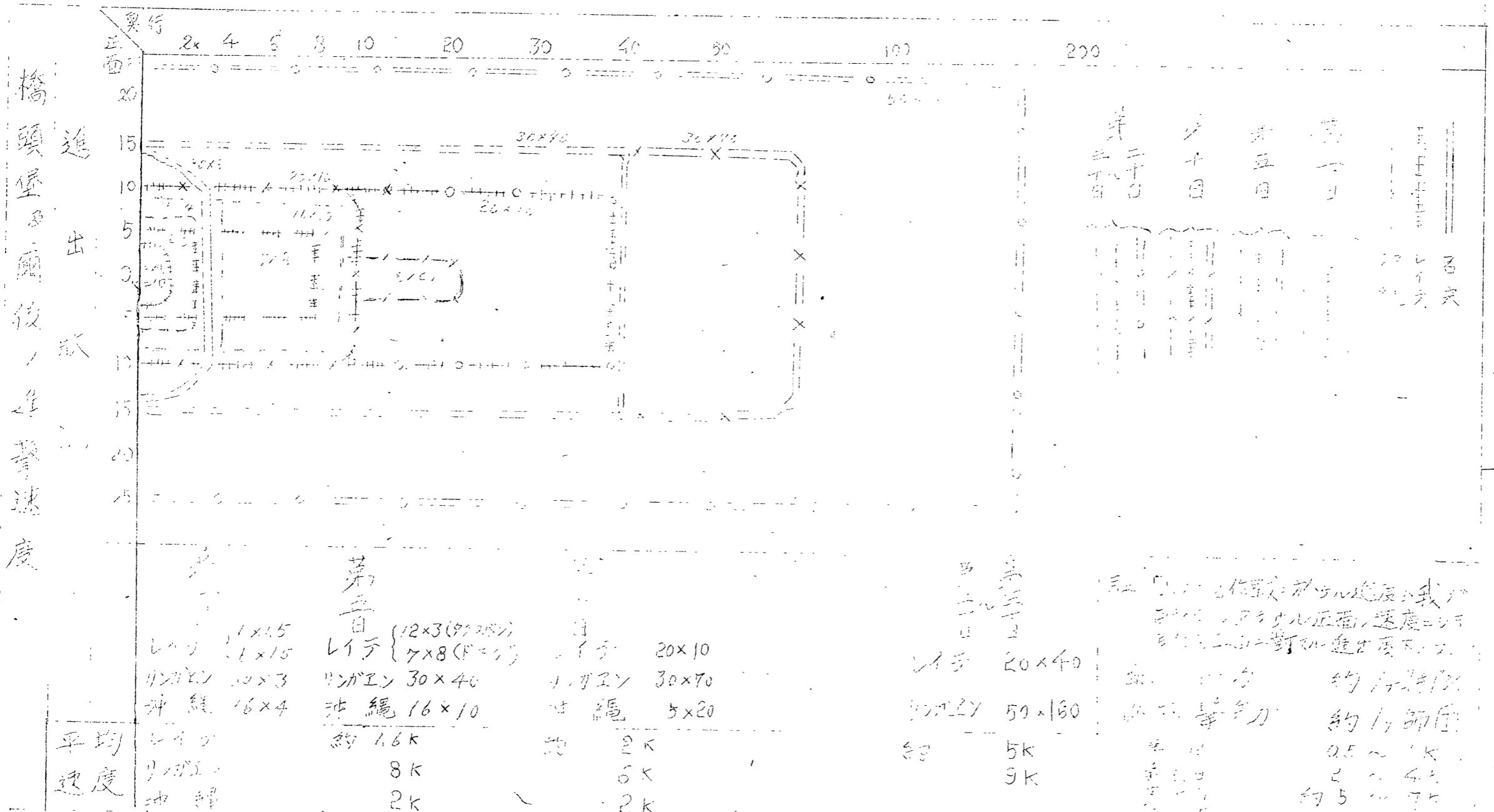


7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



上之謂宋武，作戰於北敵地上，而為揚陸狀，是立
一、敵上陸作戰二、
作敵虎嘯大勢
陸上陸，始當日以降，概在一個月以上，雖
爾後約旬（常續補給）經三月，其一月

日数 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



支那戰

作戰

於北敵地北我方揚陸狀況

進擊速度

三時作戰
乾克當天當
陸後橋頭堡

一時上陸起始當日以降概不回向及橋頭堡確立並第一期
陸後約一向常續補給ヲ經テ某二月半戰使用兵力ヲ揚移ス。

爲吾外要備後急激之進度以之進攻入。

7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

20 30 40 50

200 300 400 500

600 700 800 900

1000 1100 1200 1300

1400 1500 1600 1700

1800 1900 2000 2100

2200 2300 2400 2500

2600 2700 2800 2900

3000 3100 3200 3300

3400 3500 3600 3700

3800 3900 4000 4100

4200 4300 4400 4500

4600 4700 4800 4900

5000 5100 5200 5300

5400 5500 5600 5700

5800 5900 6000 6100

6200 6300 6400 6500

6700 6800 6900 7000

7100 7200 7300 7400

7500 7600 7700 7800

7900 8000 8100 8200

8300 8400 8500 8600

8700 8800 8900 9000

9100 9200 9300 9400

9500 9600 9700 9800

9900 10000 10100 10200

10300 10400 10500 10600

10700 10800 10900 11000

11100 11200 11300 11400

11500 11600 11700 11800

11900 12000 12100 12200

12300 12400 12500 12600

12700 12800 12900 13000

13100 13200 13300 13400

13500 13600 13700 13800

13900 14000 14100 14200

14300 14400 14500 14600

14700 14800 14900 15000

15100 15200 15300 15400

15500 15600 15700 15800

15900 16000 16100 16200

16300 16400 16500 16600

16700 16800 16900 17000

17100 17200 17300 17400

17500 17600 17700 17800

17900 18000 18100 18200

18300 18400 18500 18600

18700 18800 18900 19000

19100 19200 19300 19400

19500 19600 19700 19800

19900 20000 20100 20200

20300 20400 20500 20600

20700 20800 20900 21000

21100 21200 21300 21400

21500 21600 21700 21800

21900 22000 22100 22200

22300 22400 22500 22600

22700 22800 22900 23000

23100 23200 23300 23400

23500 23600 23700 23800

23900 24000 24100 24200

24300 24400 24500 24600

24700 24800 24900 25000

25100 25200 25300 25400

25500 25600 25700 25800

25900 26000 26100 26200

26300 26400 26500 26600

26700 26800 26900 27000

27100 27200 27300 27400

27500 27600 27700 27800

27900 28000 28100 28200

28300 28400 28500 28600

28700 28800 28900 29000

29100 29200 29300 29400

29500 29600 29700 29800

29900 30000 30100 30200

30300 30400 30500 30600

30700 30800 30900 31000

31100 31200 31300 31400

31500 31600 31700 31800

31900 32000 32100 32200

32300 32400 32500 32600

32700 32800 32900 33000

33100 33200 33300 33400

33500 33600 33700 33800

33900 34000 34100 34200

34300 34400 34500 34600

34700 34800 34900 35000

35100 35200 35300 35400

35500 35600 35700 35800

35900 36000 36100 36200

36300 36400 36500 36600

36700 36800 36900 37000

37100 37200 37300 37400

37500 37600 37700 37800

37900 38000 38100 38200

38300 38400 38500 38600

38700 38800 38900 39000

39100 39200 39300 39400

39500 39600 39700 39800

39900 40000 40100 40200

40300 40400 40500 40600

40700 40800 40900 41000

41100 41200 41300 41400

41500 41600 41700 41800

41900 42000 42100 42200

42300 42400 42500 42600

42700 42800 42900 43000

43100 43200 43300 43400

43500 43600 43700 43800

43900 44000 44100 44200

44300 44400 44500 44600

44700 44800 44900 45000

45100 45200 45300 45400

45500 45600 45700 45800

45900 46000 46100 46200

46300 46400 46500 46600

46700 46800 46900 47000

47100 47200 47300 47400

47500 47600 47700 47800

47900 48000 48100 48200

48300 48400 48500 48600

48700 48800 48900 49000

49100 49200 49300 49400

49500 49600 49700 49800

49900 50000 50100 50200

50300 50400 50500 50600

50700 50800 50900 51000

51100 51200 51300 51400

51500 51600 51700 51800

51900 52000 52100 52200

52300 52400 52500 52600

情第六號

1035

分割撮影ターゲット

| | |
|----------------------|-------------------|
| 分割した部分の撮影順序 | |
| 分割撮影した理由 | A3版以上ため |
| 文書等名 | 比島方面敵輸送船 進入推定表 |
| 上記のとおり分割撮影したことを証明する。 | |

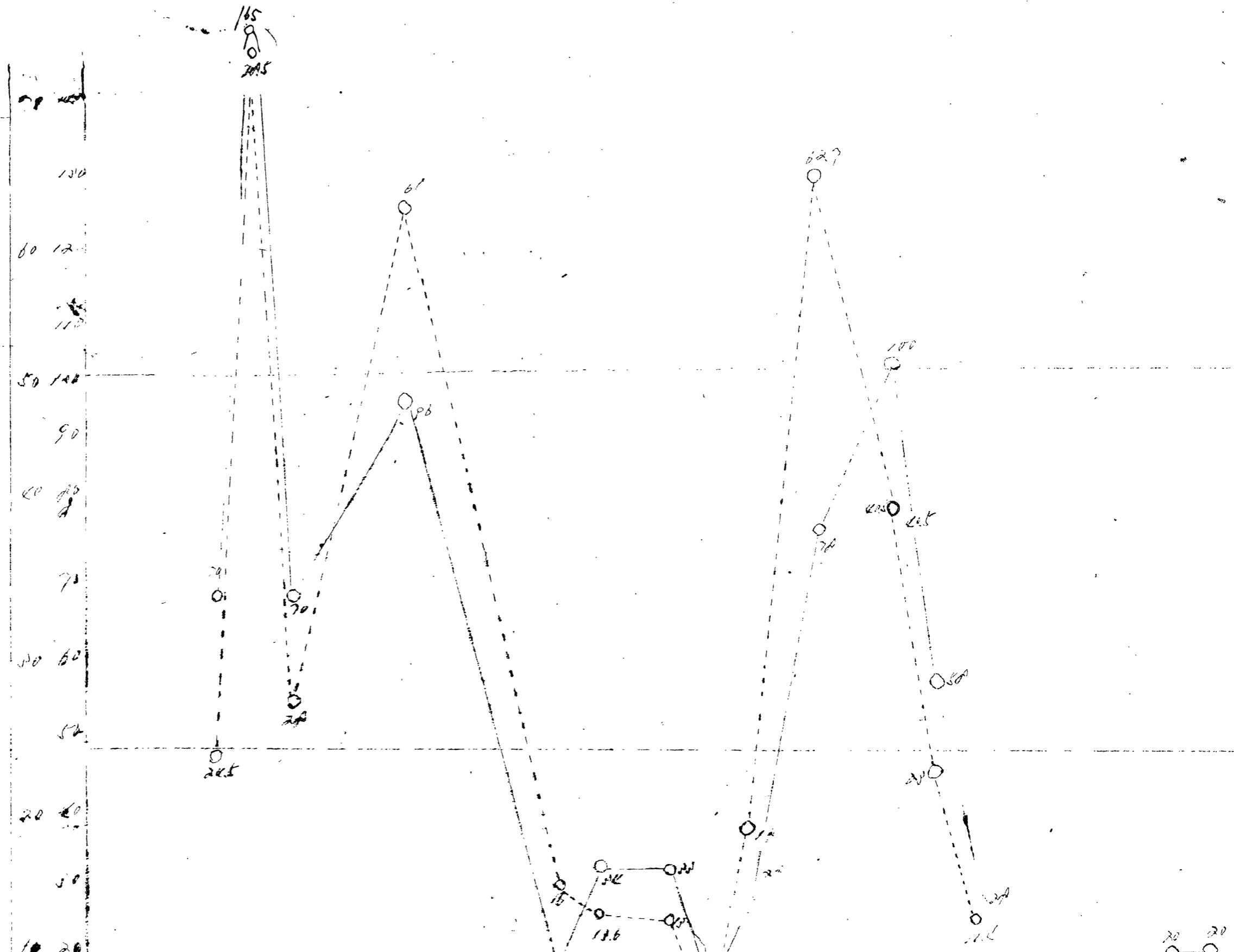
1036
1037

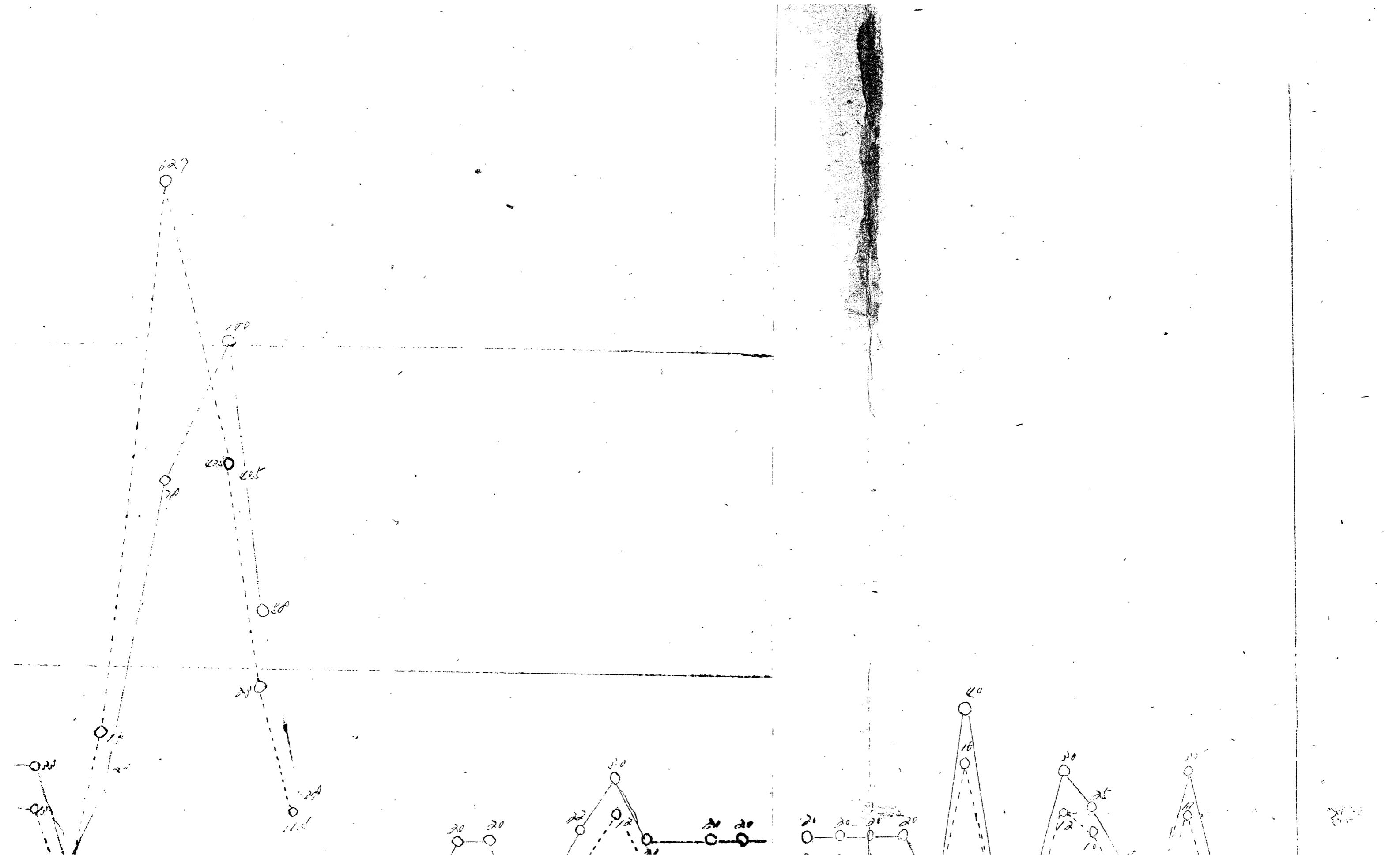
1038
1039

觀 察

比島方面敵輸送船進入推定表

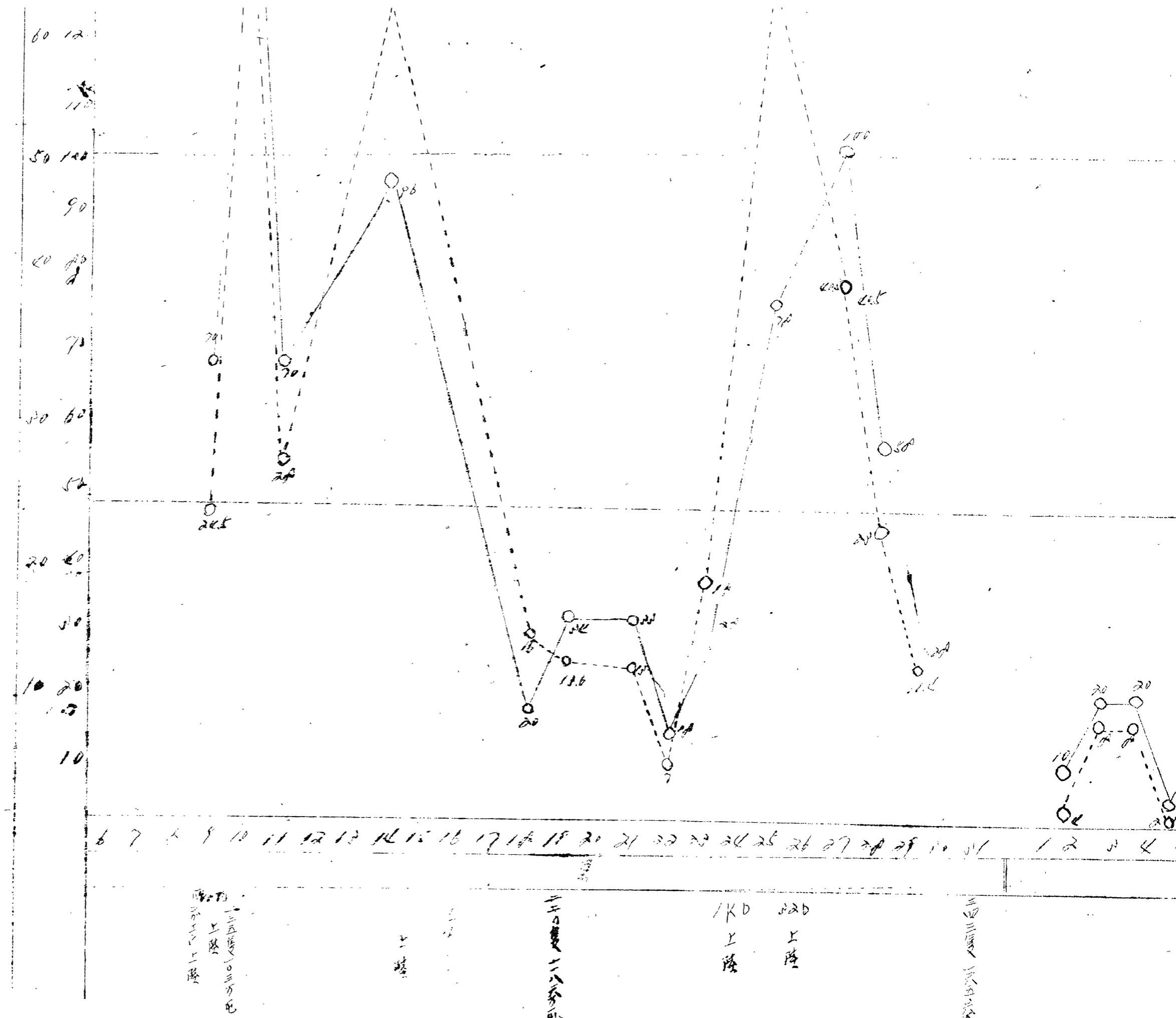
ナスダグレ=ホーラ増強シリジガニハ常備補給ラ対応之半
月後チ師團ヲ揚陸シリニ向後敵ハコニラシ攻之為中
リニガエラ上陸ニ際シハ頭初四師團爾後一週間以内ニニヶ師團ヲ

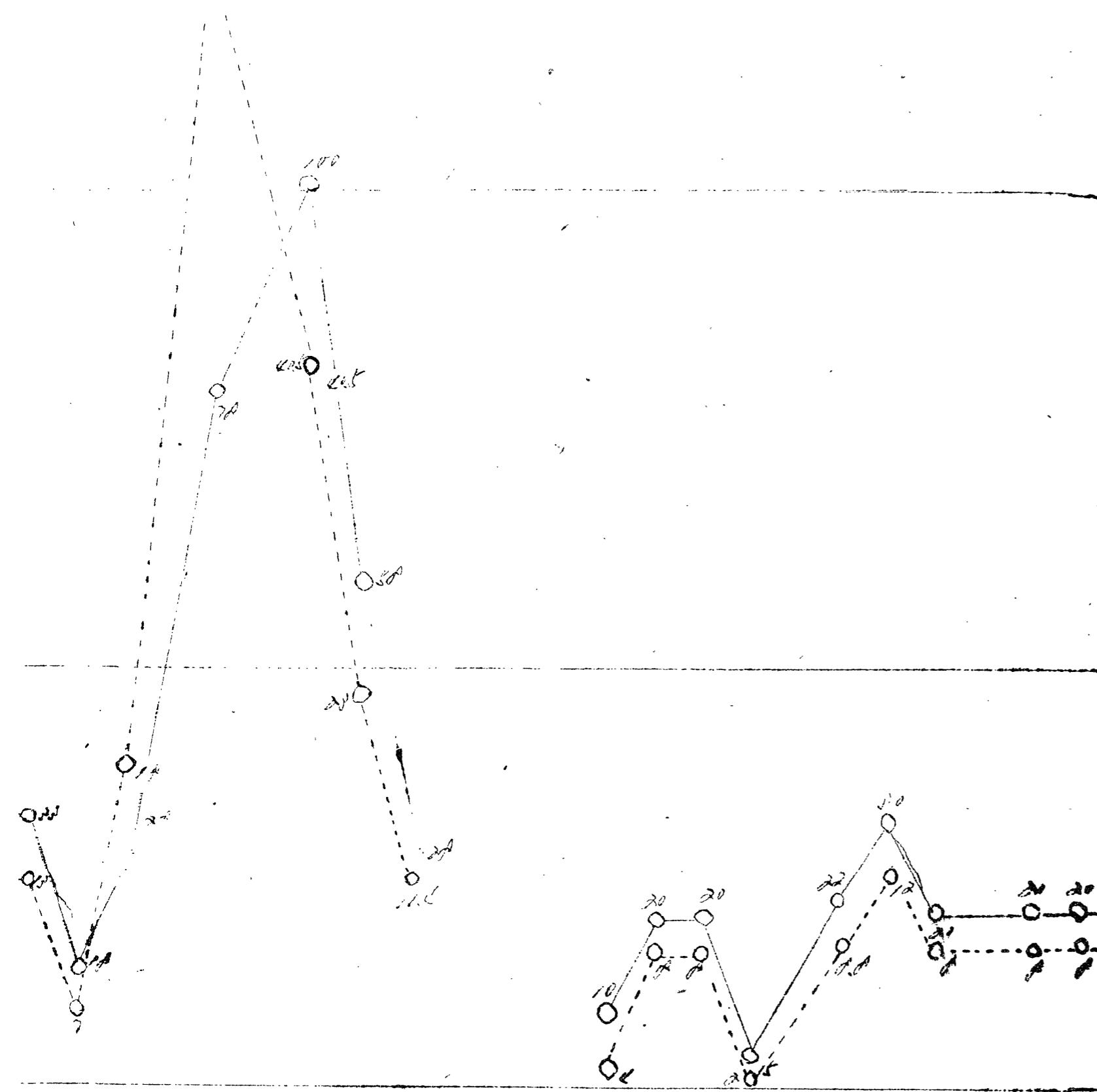




方面敵輸送船進入推定表

ハニ東カヲ増強シリガニハ常續補給ヲ実施シテ
ハキ師團ヲ揚降シテニ自後敵ハニテ攻來ノ爲中部ヨンレ
之上陸ニ際シハ頭初四師團爾後一週間以内ニニヶ師團ヲ増強シニテ更に爲

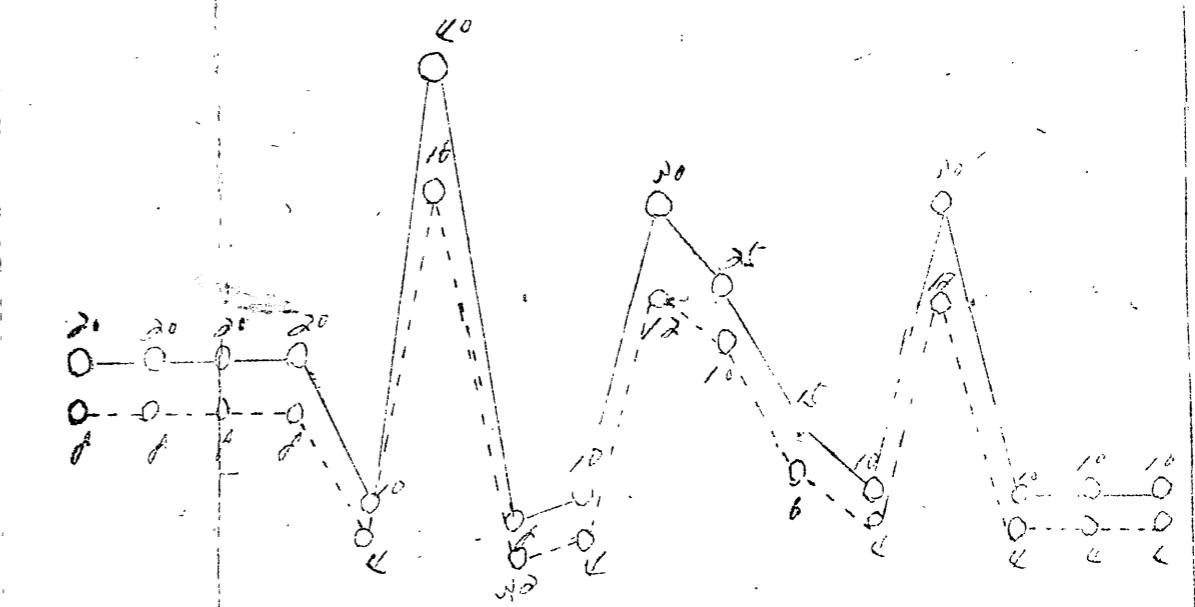




24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

KD 上降
KD 上降

三國志



11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

10

小二
上陸

八八集
七五二七

卷之三

西歐戰場ニ於ケル聯合軍ノ地上直協航空兵力概見
於昭和二十年二月

昭和二十年二月二十二日
大本營陸軍部

情第七號

要 旨 聯合軍ノ地上直協航空兵力ハ平均1ヶD當リ約80機ニシテ其ノ密度
ハ100米當リ主攻勢正面ニ於テ2乃至3機助攻勢正面ニ於テ約0.5機
ナリ尙戦列部隊人員ニ對スル協力ノ度ハ150乃至250人ニ對シ1機ノ
割合ヲ示ス

- 註 1. 戰列部隊人員ハ1ヶD13,000人トシテ計算セリ
2. 戰略航空部隊ガ一時地上作戰ニ直協シタルコトアルモ本表中ニハ加味シアラズ

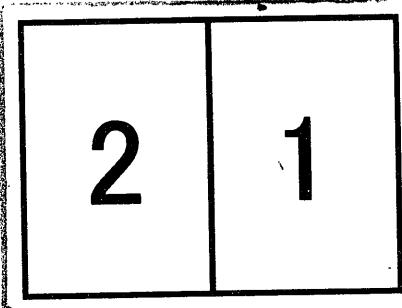
| 軍別 | D數 | 機數 | 擔任正面 | 協力機數 | | | 兵力密度 (100米當) | |
|-----|------------|--------------|-------|--------------|-----------|-----------|-----------------|-----|
| | | | | 軍 | 1ヶD 當リ | 1ヶD 當リ | 1機 當リ人 | 人員 |
| 加1A | 7ヶD | 84Groop | 640 | 85Groop 2 | 120 | 17 | 90 | 144 |
| 英2A | 15ヶD | 86Groop | 800 | 470 | 70 | 4 5 | 85 | 153 |
| 米9A | 5ヶD | 29T.A.F. | 540 | | 20 | 4 | 110 | 118 |
| 米1A | 17ヶD | 9T.A.F. | 660 | 1,100 | 55 | 3 | 86 | 151 |
| 米3A | 15 16ヶD | 19T.A.F. | 480 | | 100 | 7 | 52 | 250 |
| 米7A | 7 11ヶD | 32T.A.F. | 650 | | 160 | 17 18 | 72 | 181 |
| 佛1A | 7ヶD | 佛 1T.A.F. | 560 | | 150 | 18 20 | 80 | 163 |
| 平均 | 73 78ヶD | | 5,900 | 675 | 9 | 79 | 165 | 144 |
| | | | | | | | | 0.9 |

- 備 考 1. T.A.F.—戰術航空部隊
2. 機(B-25, B-26等)重點方面地上部隊ニ協力ス

清第八號

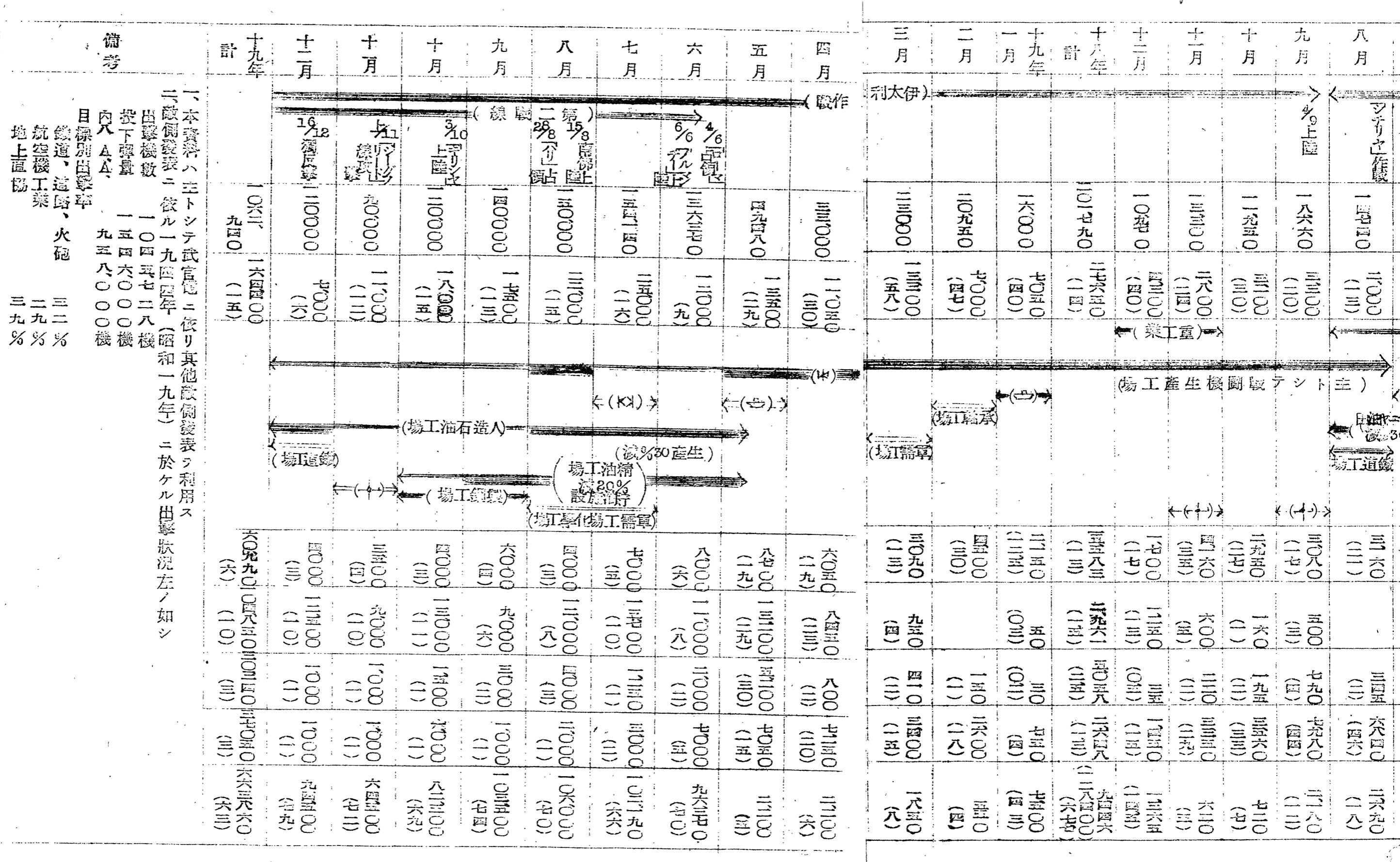
1041

分割撮影ターゲット

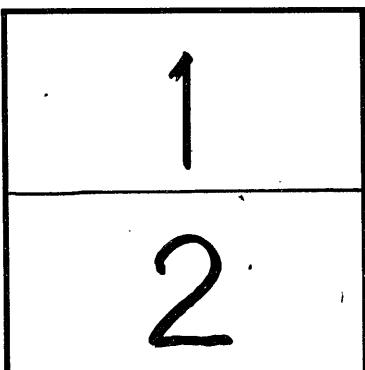
| | |
|----------------------|--|
| 分割した部分の撮影順序 |  |
| 分割撮影した理由 | A3版以上ため |
| 文書等名 | 北仏上陸時前後に於ける 対独空襲状況表 |
| 上記のとおり分割撮影したことを証明する。 | |

北錦上陣時前後二於ケル對獨空襲狀況表

043 1042 1011



分割撮影ターゲット

| | |
|----------------------|--|
| 分割した部分の撮影順序 |  |
| 分割撮影した理由 | A3版以上ため |
| 文書等名 | ルソン作戦に於ける 敵上陸船団行動要図 |
| 上記のとおり分割撮影したことを証明する。 | |

1043
1044
1045

ルソン作戦於ケル敵上陸船団行動要圖



